

何とどう向き合い、
考察し、
何を学び取るか

1期生1年間の学びと 新入生へのメッセージ

国際経営学部、国際情報学部 開設から1年

国際経営学部、国際情報学部の2学部が開設されて1年が経ちました。1期生は、中央大学で最も新しい研鑽の場で、この1年間、さまざまな課題とどう向き合い、考察し、何を学び取ってきたのか。国際経営学部の5人、国際情報学部の3人が日々、積極的に取り組んでいる学修や活動について、初めての後輩となる新入生へのメッセージを含めて報告します。

**国際
経営
学部**

刺激的な日々
学部独自の短期留学プログラムで豪州へ

奥山千波



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはどのような期待を抱き、国際経営学部を選択されたのでしょうか。私は高校生の頃から国際的な分野に興味があり、また英語などの語学運用能力を向上させたいと思っていたので、この学部が強魅力を感じました。さらに、「将来必ず役に立つ経営学や経済学を英語で学べるなんて一石二鳥じゃないか!」とも思った覚えがあります。

1年時は必修がほとんどで、経営学や経済学の基礎的な知識を学びます。基本的には座学となりますが、プレゼン

テーションやコンピューターソフトを利用した授業も多く、刺激的な日々を送っています。私の場合は中国語の習得も念頭に置いているため、中国語の授業も取り、力をいれて学習しています。

開設2年目を迎えた国際経営学部は、新設であるがゆえに、さまざまなサポートや挑戦の機会が用意されていると思います。この一年で特に印象に残ったのは、国際経営学部独自の短期留学プログラムでオーストラリアに行ったことです。初めての留学でしたが、英語の勉強だけでなく、文化や歴史にも触れられ、素晴らしい経験ができたと思っています。

また、企業訪問で実際の職場の雰囲気を感じることができたり、大学生のうちにやっておくと良いことを知ることができたりしました。入学前は先輩がいないことに不安を感じていましたが、今はあまり感じていません。それは授業など

に関わる方々の手厚いサポートのおかげであり、結局はどれだけ自分でチャンスをつかみにいけるかが重要だからです。

**国際的なこと、起業に興味…
志はさまざま**

社会人となっている先輩はいませんが、大学では私たちに頼ってください。国際経営学部には、起業に興味がある人や国際的なことに興味がある人など、本当にいろいろな志を持った人がいて面白いです。

私は、在学中に専門的な経済学などの知識と高度な語学運用能力を身につけることが目標です。それを生かして、将来的には国際協力機関で女性や子供といった社会的に弱い立場にある人々を支援する仕事に従事したいと考えています。

大学生としての生活は十人十色。現

時点で言えることとしては、自分次第で良い方向にも悪い方向にも転ぶということです。目標や興味のあることを持っている人は、そうでない人に比べ有意義な毎日を過ごしているように思えます。

まだやりたいことがはっきりしていない方もさまざまなことに挑戦したり経験したりして、視野を広げてみてください。

皆さんも想像しているとは思いますが、専門知識を英語で学ぶということは容易なことではありません。私自身、日本語で学べたらもっと理解できるのに、と思ったことは何度もあります。

わからないときは、英語で書かれた内容を日本語に直して大体の意味を理解した上で、もう一度英語に戻るといった

努力も必要になってくると思います。それと、一人ではどうしようもないときは、遠慮せずに先生方や事務の方、先輩に助けを求めることが大切です。皆さんとこれからの国際経営学部を開拓していけることを楽しみにしています。

国際
経営
学部

長浜^{りく}吏紅



英語と数学に
徹底的に向き合う

新生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ほんの1年前、私も沖縄から中央大学に進学してきました。上京するにあたり、これから始まる大学生活に心躍らせたことを今でも覚えています。私が国際経営学部に進学しようと決めた理由は、1つ目に全科目のおよそ7割が外国語による授業であったこと、2つ目に1年次の必修科目での海外短期留学があったことでした。

国際経営学部では英語が非常に重要なファクターとなっています。そのため、春学期は必修科目のほかに、外国語の授業を選択し、英語と徹底的に向

き合いました。また、中国語の授業も選択し、新たな言語を学ぶ楽しさを改めて感じました。

秋学期は、春学期と打って変わって、授業のレベルが一気に上がりました。必修科目にミクロ経済学と経営統計入門が入り、選択科目で経営数学入門を選択していた私は、英語と数字にひたすら向き合わされました。

フォローアップ授業や英語学修をサポートするアカデミックサポートセンター(ASC)を利用することで、理解をさらに深めることができ、先生方からマンツーマンで指導してもらえるなど、充実

したバックアップを実感しました。新設の学部で私たちに先輩はいませんが、学生と先生方、学部事務室の方々が一体となって成長しているように感じます。

卒業後は海外で働きたいというのが、私の現在の目標ですが、その目標をさらに明確なものとするために、これからの3年間、多くを学び、自分の目標を具体化していきたいと思います。最後に、常に周りへの感謝を忘れず、努力し、大学生活を楽しんでください。ともに切磋琢磨できることを楽しみにしています。チバリヨー新入生。



**国際
経営
学部**

水嶋恵三



新入生の皆さん、こんにちは。私がこの短い1年間で感じたことをお伝えします。

私は英語が得意ではありません。ニュアンスだけで理解しているような感じです。それでも国際経営学部を志望した理由は、「自分の視野を広げたい」と思ったからです。ありきたりな理由かもしれませんが、小学校から高校までの

「大事なのは「多様性を受け入れること」

間、野球ばかりしていた私にとっては、小さい頃から海外にいた人や、海外から来た人、年齢の違う人との交流は、新鮮そのものでした。

私は浪人を経て入学し、同級生の多くが年下ですが、そんなことは一切関係なく、その人が「英語を話せる」というだけでも、私にとっては尊敬の対象です。国際経営学部に入學して、私のような海外渡航経験がなく、英語もそれほど好きではない、得意ではないという人にとって必要だと思うことは、多様性を受け入れるということだと思います。

多様性については、本で読んだり、人から聞いたりして知っている言葉だと思いますが、実際に体験してみると違います。1年生の夏休みに参加した、オーストラリアへの1カ月間の短期留学で、英

語が伝わる楽しさや文化の違いを多少でも感じたり、英語という一つの言語でありながら自分の理解していた言葉の意味やニュアンスなどに微妙な違いがあったりなど、私にとって初めての経験ばかりでした。

入学当初は、英語での会話に気後れたこともあり、誰とも話す気になれなかった私ですが、さまざまな人と関わり、話していくうちに、自分がどんな人間であるかということを見つけられたと思います。

Anyway, no matter what you do, goal setting is essential.

慣れない英語を使ってみました。変な英語だったり、伝わらなかったりすれば、教えてください。これから、共に学んでいきましょう！

国際
経営
学部

宮本郁実



私はもともと経済経営系の学部ではなく、社会学系の学部に進学しようと考えていました。高校時代は理系科目よりも社会科目の方が好きだったということや、人権問題への関心があったからです。しかし、いざ進路選択を迫られた際、「社会問題を社会学の観点からアプローチするのは安直過ぎないか。あえて一見無関係に思える経済学や経営学の観点から考えるのもおもしろいのではないか」と考えるようになり、経済や経営が学べる学部も受験し、中央大学の国際経営学部に進学しました。

「経済、経営学の観点から学ぶ社会学」

1年次の春学期では、この関心を深めるため、「社会学」という科目を履修しました。国際経営学部では1年次の必修科目として基礎的な経営学や経済学を学ぶため、一緒に履修することで、経済や経営の見地から社会学を学ぶという、私の望んでいた学びを深めることができました。

また、春学期に「数学」も履修しました。高校時代、数学IAまでしか学んでいなかったからです。国際経営学部で学ぶ経済学や統計学などでは、当たり前のように数学を用います。そのため、周りに後れを取らないように、早い時期に数学を履修しました。私が履修した数学の講義では、学部の勉強で必要となる単元に的を絞り、一から丁寧に学べたため、今は後れを取ることなく学べています。

チャレンジ精神、 積極性がある1期生

私たちが入学した当初は新設学部ということで、右も左もわかりませんでした。時間割の組み方、忙しさ、どのような先生方が教えてくれるのかもわかりませんでした。しかし、だからこそ、自分のやりたいことに挑戦できたり、大きく捉えれば国際経営学部の色や雰囲気を目

分たちで決められたりできるという楽しさもあります。そうした意味でも1期生はチャレンジ精神や積極性のある人が多いと思います。

もっとうだつたらいいなと思うところもあります。それは履修科目の単位数の融通です。卒業までに多くの単位修得が必要となりますが、1年次は36単位(約18科目)しか履修できず、高学年になると負担が大きくなってしまいそうな気がします。

同じ学部先輩がいないということは、入学前からの大きな不安要素でした。しかし、今はその環境で良かったと思っています。なぜかという、出会う学部の人は皆、同学年だからです。学部のラウンジに行けば誰か友達がいるし、皆が同学年だと思うと、気軽に話しかけやすく、友達作りもしやすいです。一つ先輩がいなくて戸惑う点を挙げるとすれば、定期試験や授業の様子が受けてみないと分からないところです。毎回、ドキドキしながら試験や授業選びをしています。

皆さんにとって先輩は私たちしかいませんが、たくさん力になれると思います。学部事務室の方々もとても温かく接してくださるので安心して新生活を迎えてください。これから共に大学生活を楽しみましょう！

尾澤優季

経営学、経済学用語、
プログラミング言語…
ふんだんに学ぶ



私は多くの授業が英語で行われること、それによる英語力の上昇を期待して国際経営学部に入學しました。ただ英語を勉強するだけでは全く意味はないと思い、英語を用いた勉強ができることを期待していました。英語をベースにして経営学や経済学が学べるというのが他大学、他学部と違う利点だと思っています。

この1年間は、専門的な内容を学ぶための基礎知識をたくさん学びました。パソコンの使い方から、経営学用語、経済学用語、プログラミング言語まで知識をたくさん増やすことができました。また、中国語を履修したことで、夏休みの1カ月の台湾留学のときにも、現地でより深く楽しむことができました。

新設の学部に入學してよかったと思ったことは、先生方や事務室職員の方

方、私たち学生が一丸となって授業や“学部色”を作り上げていると感じられることです。先生も私たちの問いかけを親身になって聞いてくださいます。1年次に履修できる単位数に上限があり、受けられない授業が出てきてしまうのは、言語科目をもう少し多く履修したいと希望していた私にとって少し残念でした。ただ、必修科目に専念できるという面ではいいのかもしれません。

8月から長期交換留学へ

1期生で先輩がいないことに関しては、良いところと、そうでないところの双方があると思っています。授業の「型」や「展開」が決まっていない分、私たちが自由に作っていくこともできます。一方で、試験の概要や、課題で分からないと

ころをすぐ身近に質問できる先輩がいないのは困ってしまいます。ただ、その分は先生方が質問に対して親切に対応してくださるのですが。

私は今年8月から英語圏の大学に1年間の長期交換留学に行くことを予定しています。国際経営学部での授業が英語なので、留学先での授業についてギャップを感じないと思っています。将来は海外で就職したいと考えているので現地でのコネクションを作れるように頑張りたいです。

新入生の皆さん。私たち1期生も未熟かもしれませんが、困ったときは一番身近で助けられる存在になれると思います。先輩は親切で話しやすい方ばかりです！ また、みんな夢を持っています。ぜひ私たちについてきてください！